



かがやき

昭和53年4月1日創立 児童数303名 15学級 <http://www.sakasai-e.kashiwa.ed.jp/>

今年度の成果を次年度につなげよう

今学期、そして今年度も残すところ1ヶ月を切りました。エビネ階段の掲示板には6年生の卒業までの日数が掲げられ、1日ずつ減っていくのを見ると寂しい気持ちになります。しかし子ども達は互いに切磋琢磨しながらたくましく成長しています。2月は縄跳び強化月間として個人では短縄、学級では長縄に取り組みました。逆井小の児童は持久走の取り組みと同様に休み時間を利用して各自が自分の記録を更新するために努力する姿が見られました。担任に頼らず子ども達だけで長縄の練習をする学級も多かったです。子ども達の主体性が育ってきた証拠だと思えます。授業では各学年様々な形で学びを深めてきました。逆井小で積極的に取り入れていることの1つがゲストティーチャー(外部講師)を招いての学習です。3学期も多くの方が授業支援を行ってくれました。6年生では本校元教頭の西脇先生がキャリア教育としてユメカキ教室を実施してくれました。自分達のここまでの人生を振り返りながら自分を見つめなおし、将来の夢を考えることができました。5年生では助産師協会の方を招いての性教育を実施し、大人になるための一歩として大切な知識を得ることができました。今後も教科の学習だけでなく将来自立して生きていくために必要な知識、それを活用していこうとする姿勢を小学校6年間でしっかり育成していきたいと思えます。



○スマホ・ネットの安心・安全な使い方を知ろう

2月20日、5,6年生対象にSNSについての出前授業を実施しました。講師に柏市で長年教員や校長を務めた宮武先生をお招きし、小中学生が知っておくべき知識についてわかりやすくお話ししていただきました。現在逆井小では多くの児童がスマートフォン等を持っていますが、残念ながらそれを原因としたトラブルが学校で認知しているだけでも毎年数件起きています。そこで子ども達が加害者にも被害者にもならないために宮武先生のお話からいくつかのポイントを紹介します。

・高学年は思春期の入り口であり、この時期は友達がすべてであり、いじめや友達とのトラブルが何よりつらいと感じる。
・スマホ・ネットはいじめにつながりやすい。いじめは

犯罪である。(いじめ防止対策推進法に定められている。)・法律に違反すると刑事罰もしくは民事罰に問われることもある。・ネットのトラブルとして炎上や個人情報ろうえいにつながる事が多く、ネットに一度出た情報は消すことができない。それによって様々なものを失う可能性が高い。

子ども達ができることとして・利用時間を決める。・利用場所を決める。・SNS で友達の悪口や良くない写真を送信しない。・ネット上で知り合った人に会わない。・つらい時、悲しいときは SOS を出す。

すでにご家庭でルールを決めているかもしれませんが、改めてお子さんと話し合う機会を設けていただくことをお願いいたします。

「ネットいじめ」の認知件数

年	認知件数
2006	4,883件
2017	12,632件
2019	17,924件

ネットいじめ

- LINEのグループをつくり、グループトークの中で友達の悪口を言い合った。
- タイムラインで友達から悪口を投稿(とうこう)された女の子が不登校になった。
- 男の子に頼まれ、自分の下着姿の写真を送信した女の子が別れた後、男の子の友達に自分の裸の写真を広まった。

心のものさし

辛い、悲しい、怒しい、心の状態 0

感動效、エネルギー、テンション 50

最高のうれしい、楽しい、心の状態 100

あなたの行為によって人のテンション、感動效、エネルギーを上げてあげる行為 → 親切

○保育園児達と交流しました

2月13日に1年生と逆井保育園の園児達の交流会が実施されました。この日は生活科のむかし遊びで取り組んでいるけん玉、お手玉等を保育園児に披露したり、やり方を教えてあげたりしました。またプレゼントも用意しました。1年生もあと少しで後輩ができます。お兄さん、お姉さんになる心構えが少しずつ芽生えてきたようです。先輩たちの親切な姿勢を今度は4月から後輩たちに示してくれるでしょう。



○ふるさと資料室がリニューアルしました

逆井小の1階体育館手前にふるさと資料室があります。開校後まもなくできた部屋で、中には昔の農耕器具等があります。しかし長い間使われなくなっていました。逆井小学校運営協議会の方が中心となり1年以上かけて整備をしてきました。そして今、子ども達の学びを深める場としてよみがえりました。3年生は社会科で人々のくらしのうつりかわりについて学習していますが、ふるさと資料室を利用して昔の道具を実際に見たり、触れたりして、熱心にその結果を記録していました。また部屋の中央には移築した昔の住居もあります。子ども達は土間にあがり、いろりを囲んで昔の人の気分を味わうこともできました。そして後日地域在住の大山さんがゲストティーチャーとして逆井地区の昔の様子についてお話ししてくださいました。江戸時代、この地域は幕府の牧場でたくさんの馬を育てていたそうです。しかし明治時代になり馬が必要ではなくなり、農耕地となったそうです。逆井の歴史の紙芝居も見せていただきました。子ども達にとっての故郷である逆井への理解と郷土愛を育む良い機会となりました。



○健康観察のお願い

現在、インフルエンザ等の感染症に罹患する児童が複数おります。改めてのお願いですが、朝の健康観察をお願いいたします。体調がすぐれない場合は登校を控え、早めに医療機関を受診してください。また欠席の場合、体調不良ではなく、なるべく発熱、頭痛等のように具体的にお知らせください。